

第4章 川口市の教育のめざすべき姿

<基本理念>

『一人ひとりが輝く、しなやかさとたくましさを そなえた人材を育てる 川口の教育』

少子高齢化やグローバル化の進行、さらなる技術革新の進展などにより、私たちが暮らす社会は過去に経験をしたことがない状況に直面し、変化の激しい社会を生き抜くためには、教育の果たす役割が益々大きくなっています。

こうした状況の中、「いつの時代においても変わらない本質的なものは守りつつも、時代の変化に適応していくことが重要であること」という不易流行*の考えのもとに、学校教育においては、引き続き学校の教育力と指導力の向上を図り、知・徳・体の調和のとれた人間形成をめざします。さらに、社会の急激な変化を踏まえ、子どもたち一人ひとりが課題の解決に向けて粘り強く追究するたくましさを持ち、他者との対話を通じて多面的・多角的に物事を捉え、柔軟に考えを広げ深めることができるしなやかさを身に付けた子どもたちの育成をめざします。

また、生涯学習においては、市民の多様な学習・活動意欲の高まりに対して、自己実現をめざすための支援を引き続き行い、お互いが尊重・理解し合いながら一人ひとりの個性や魅力を伸ばすことをめざします。さらに、市民一人ひとりが生涯にわたる学びを通じて豊かな人間性を育み、様々な社会の変化を乗り越え、活力ある地域社会を築くことができる人材の育成をめざします。

『一人ひとりが輝く』

人はそれぞれ違った個性や能力を持っています。その個性や能力を伸ばし、社会の一員としてそれぞれの居場所を見つけ、自分らしく生きることが、一人ひとりが輝くことに通じます。

そのため、知・徳・体の調和のとれた人間形成を進め、自らの人生を切り開き、より充実したものにしていける力を養うことで、市民(子どもから大人まで)一人ひとりが輝く教育をめざします。

『しなやかさとたくましさをそなえた人材』

課題解決に向けて粘り強く追究するたくましさと、他者との対話を通じて柔軟に考えを広げ深めることができるしなやかさをそなえるためには、問題発見、課題解決、コミュニケーションなど、どんな時代も変わることのない力を一人ひとりが身に付けることが重要となります。

そのため、周囲の様々な事象に関心を持つ好奇心を育むとともに、生涯を通じて学び続けられる基礎的な力を養うことで、自らの「学び」を創り出していくことができる市民(子どもから大人まで)を育てることをめざします。

<基本目標>

1 子どもがのびのび学べる環境づくり

子どもたちが、さまざまな体験や学びを通じて、自身の夢や希望を持ち、積極的に挑戦し続けられるよう、知・徳・体の調和のとれた人間形成をめざします。

2 子どもの成長をサポートする基盤づくり

学校・家庭・地域と行政が相互に補完・連携しながら、さまざまな社会経験の場や見守りの機会を増やし、子どもの成長をサポートする基盤をより強固なものにしていきます。

3 市民が自己実現をめざせる環境づくり

自己実現をめざす市民の多様な学習・活動意欲の高まりに対応するため、さまざまな支援を行い、一人ひとりの個性や魅力を伸ばす環境をつくります。

4 地域におけるさまざまな資源の活用

歴史的資源をはじめとするさまざまな地域資源・人材を掘り起こし、教材化を図ったり、広く周知を図ったりすることで、児童生徒、市民の社会や郷土に関する理解を深め、郷土への誇りや愛着を一層高めます。

5 教育行政経営の基盤強化

教育関連施設を教育行政の資源と捉え、安全かつ適正に整備することにより、教育行政経営の基盤強化を図るとともに、効率的な管理・運営を行うことにより、良好な教育環境のもとで市民の、自己教育、相互教育の発展をめざします。